

# 2022年3月期第2四半期 決算説明資料

---

# 目次

---

1. 2022年3月期 第2四半期決算 P 2
2. 2022年3月期 通期業績予想 P19
3. 重点施策 P23

# 2022年3月期 第2四半期決算

# 決算ハイライト

## 売上高

25,818百万円  
(前年同四半期比+ 44.8 %)

## 売上総利益

4,847百万円  
(前年同四半期比+ 73.2 %)

## 営業利益

1,940百万円  
(前年同四半期比+ 232.8 %)

## 第2四半期サマリー

- 好調な市場環境を背景に増収増益、売上高、営業利益ともに過去最高値を具現  
期中に上方修正した業績予想をさらに上回る実績を達成
- 半導体製造装置業界は、5G関連やデータセンター向けに需要拡大が続いており、設備投資は好調に推移
- 主力のアルミニウムを中心に全品種で好調に推移
- 棚卸資産影響額が当期259百万円(益)発生、前年同四半期比373百万円の増益要因となった  
(上期業績予想の棚卸資産影響額 期初発表時点：114百万円(益) 8月10日修正時点：190百万円(益))
- IR活動・株主還元強化の一環として、株主優待制度を導入
- 当期から導入した中間配当および年間配当額を増配

# 連結損益計算書 (PL) サマリー

## 半導体製造装置業界を中心に好調持続、 前年同四半期比で大幅な増収増益を達成

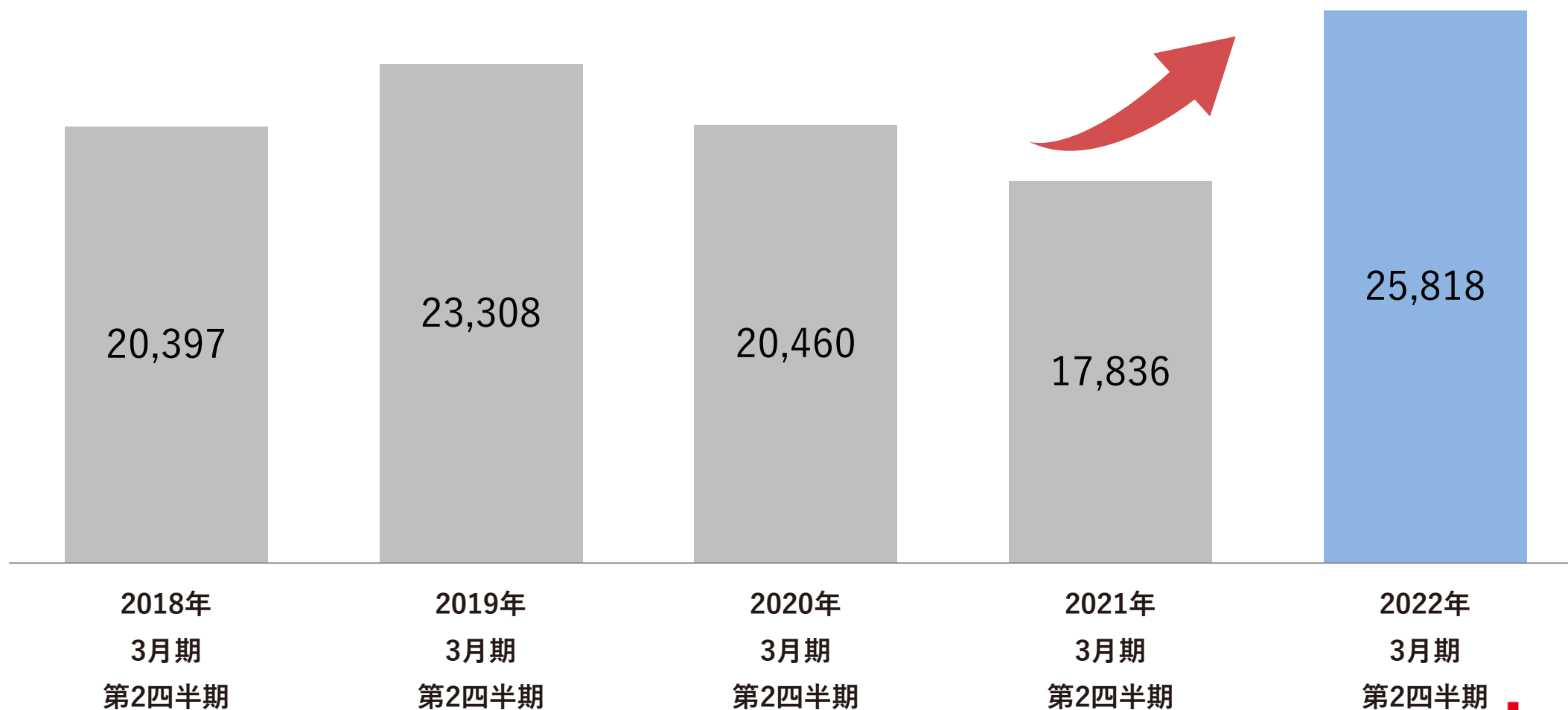
(百万円)	2021/3期 第2四半期	売上高比	2022/3期 第2四半期	売上高比	増減率
売上高	17,836	-	25,818	-	+44.8%
売上総利益	2,799	15.7%	4,847	18.8%	+73.2%
営業利益(棚卸資産影響前)	697	3.9%	1,681	6.5%	+141.2%
棚卸資産影響額	△114	—	+259	—	—
営業利益(棚卸資産影響後)	583	3.3%	1,940	7.5%	+232.8%
経常利益	616	3.5%	1,993	7.7%	+223.3%
親会社に帰属する 当期純利益	428	2.4%	1,355	5.2%	+216.6%

# 直近の売上高推移

## 前年同四半期比 44.8% 増加

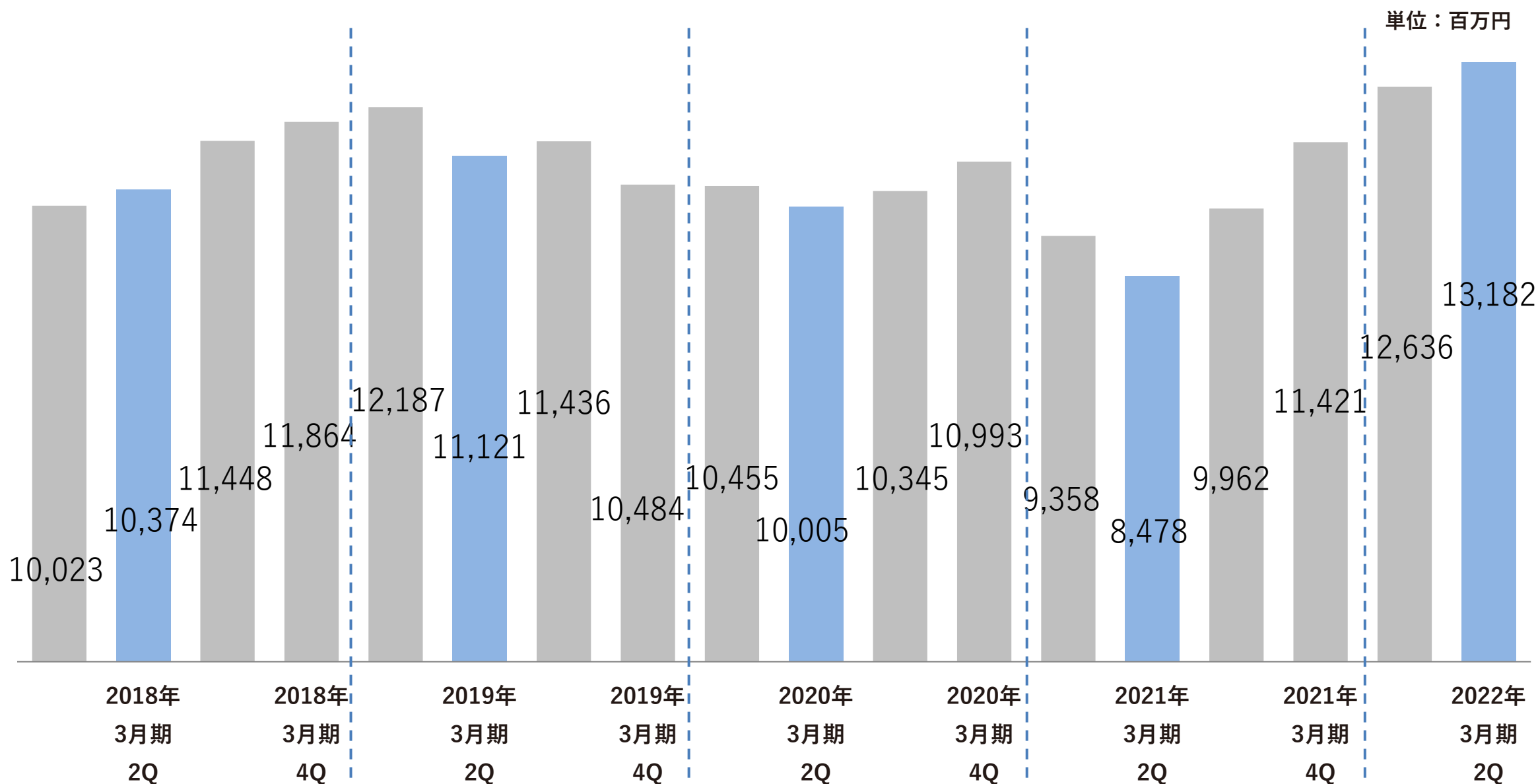
- ◆ 前年同四半期は新型コロナウイルス感染症の影響で低迷を余儀なくされたが、2022年3月期第2四半期は、半導体製造装置業界の好況等を背景に上半期として過去最高の売上高を達成

単位：百万円



# 売上高の四半期毎推移

2021年3月期 2Qを底としてコロナウイルス感染症の影響から回復中、今期は過去最高水準の好調な業績を持続中

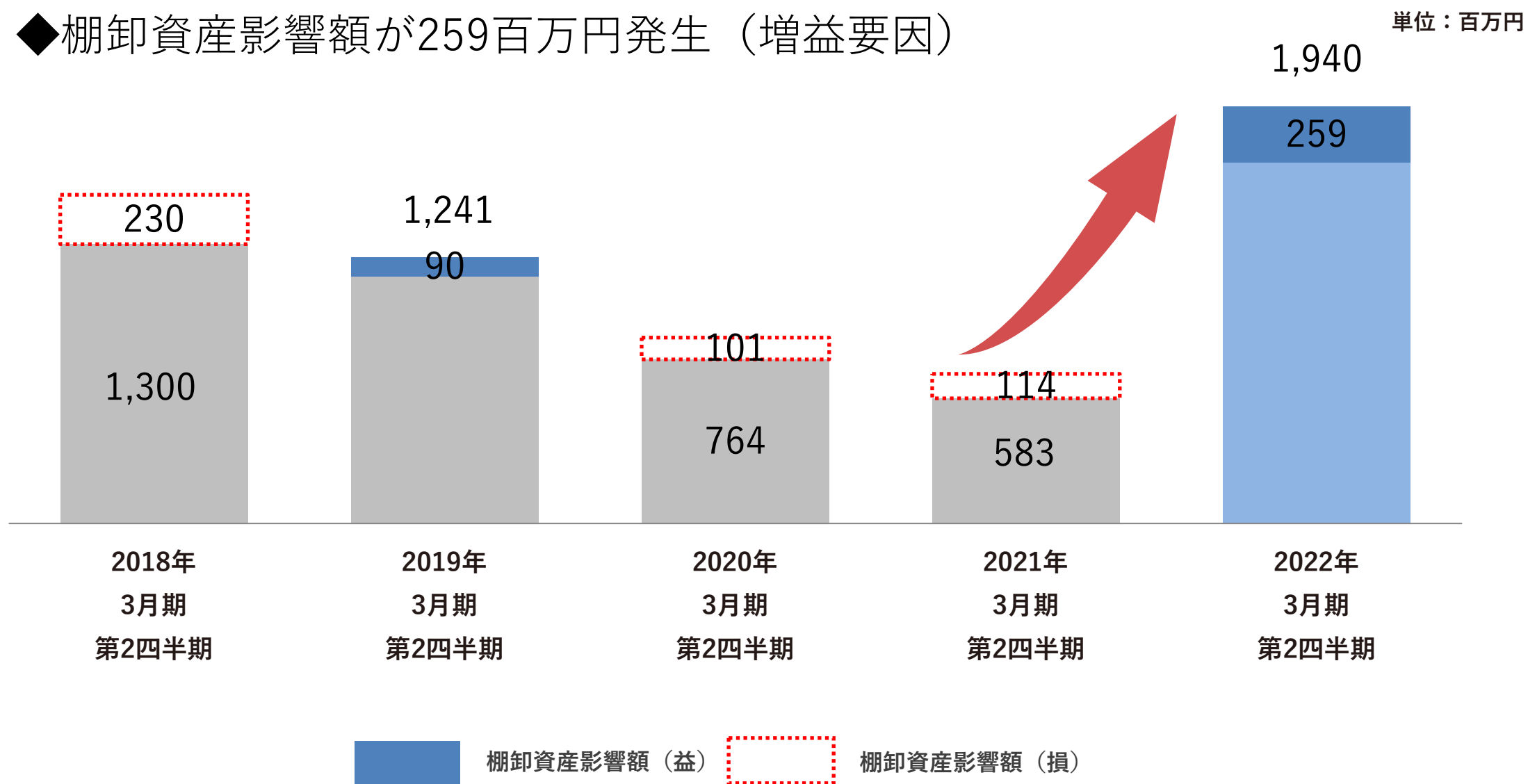


# 直近の営業利益推移

## 前年同四半期比 232.8% 増加

◆売上高の増加と売上原価率低減が主因

◆棚卸資産影響額が259百万円発生（増益要因）

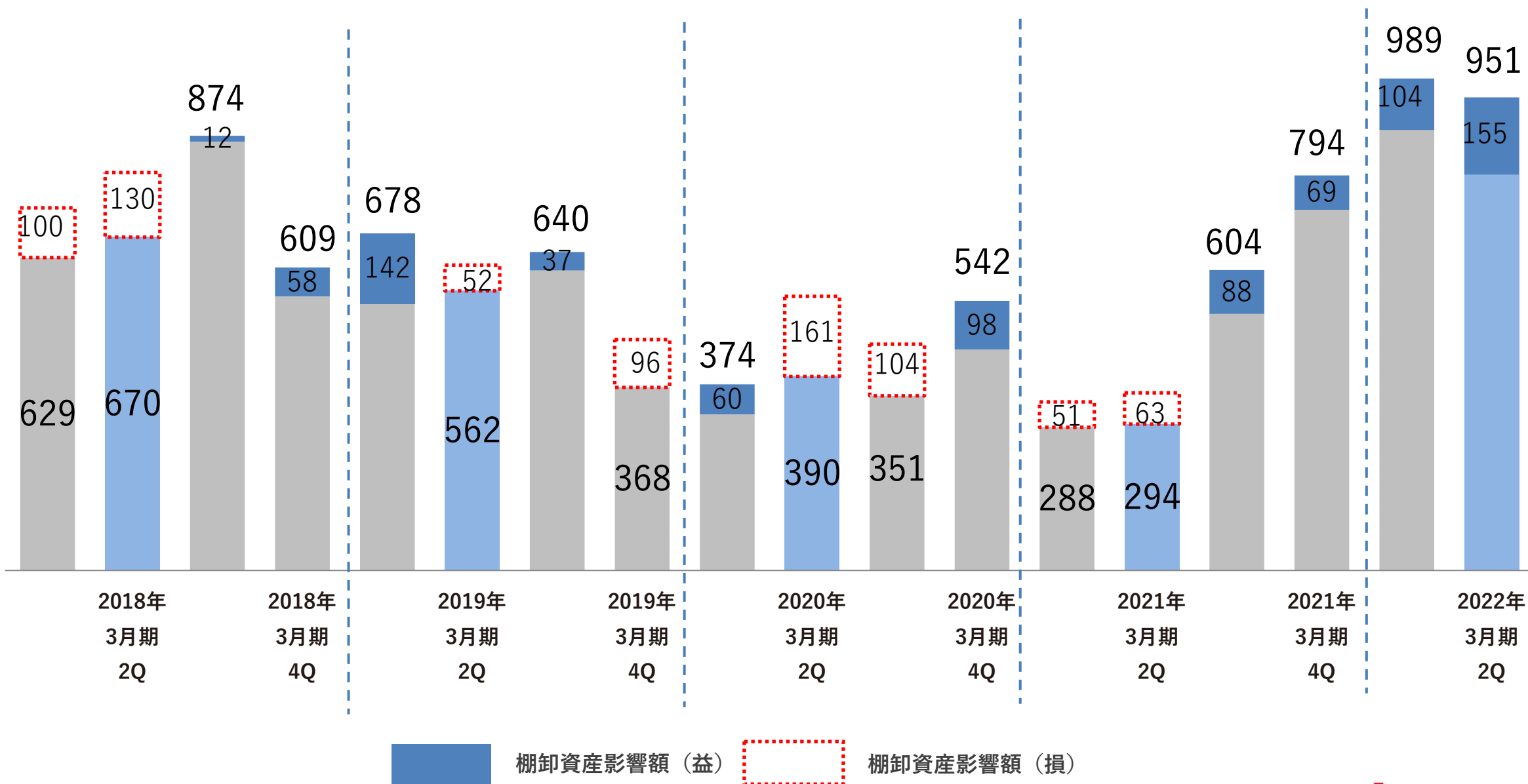




# 営業利益の四半期毎推移

## 2021年3月期3Q以降、営業利益が回復傾向

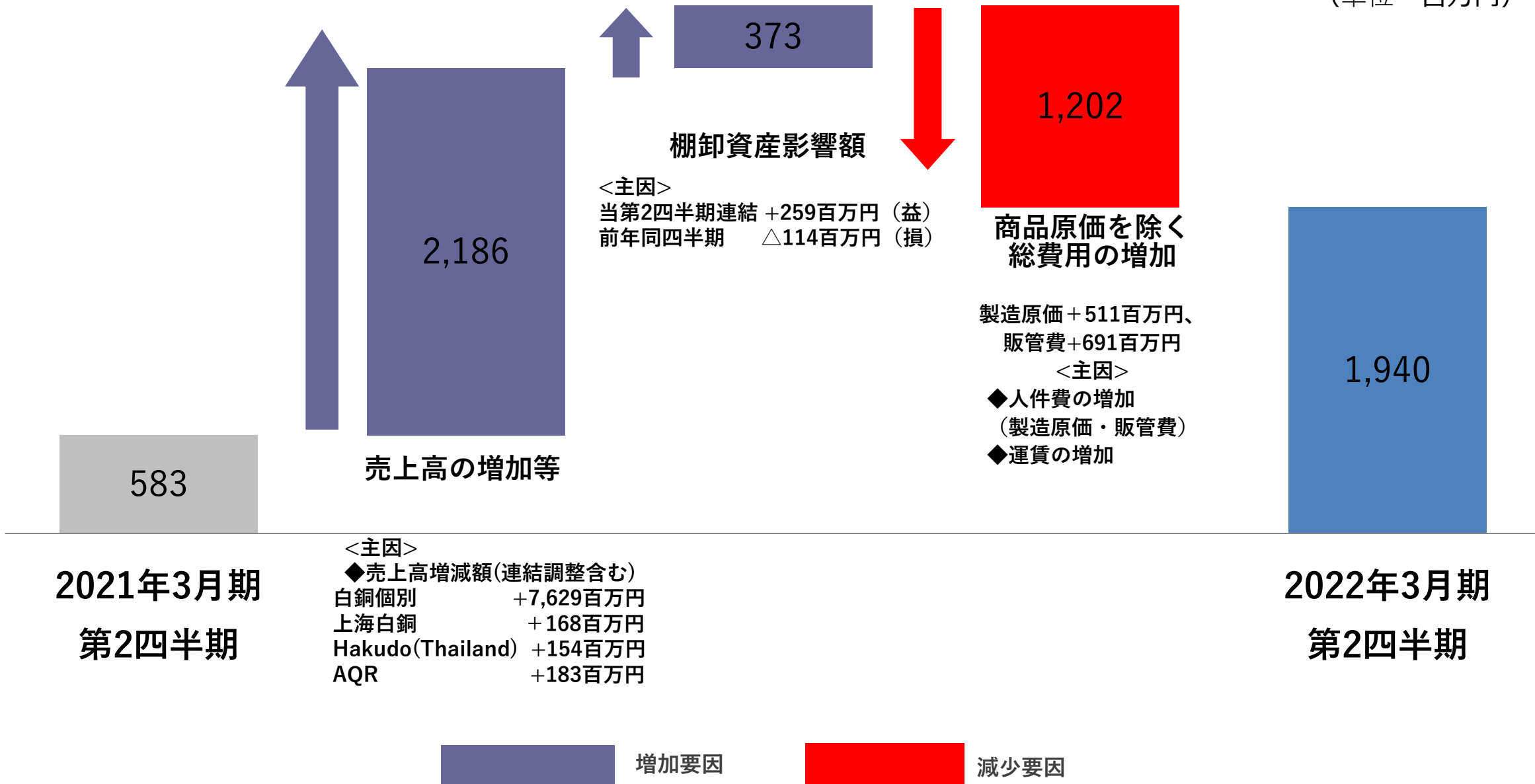
単位：百万円



# 営業利益の前年同四半期差異要因

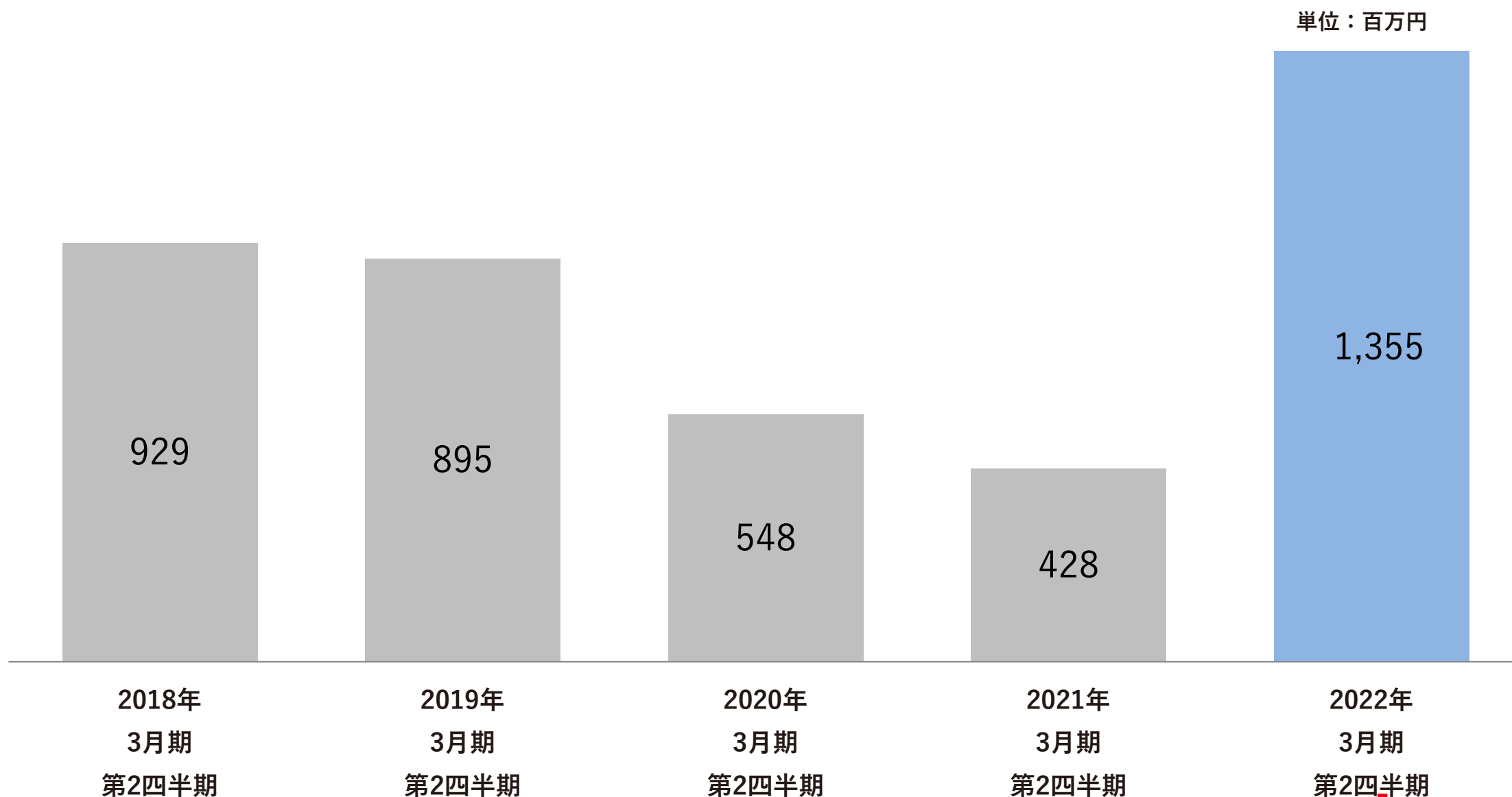
## 売上高の増加と原材料市況の影響により増益

(単位 百万円)



# 直近の親会社株主に帰属する当期純利益推移

## 親会社株主に帰属する当期純利益は前年同四半期比 216.6% 増加



# 品種別売上高

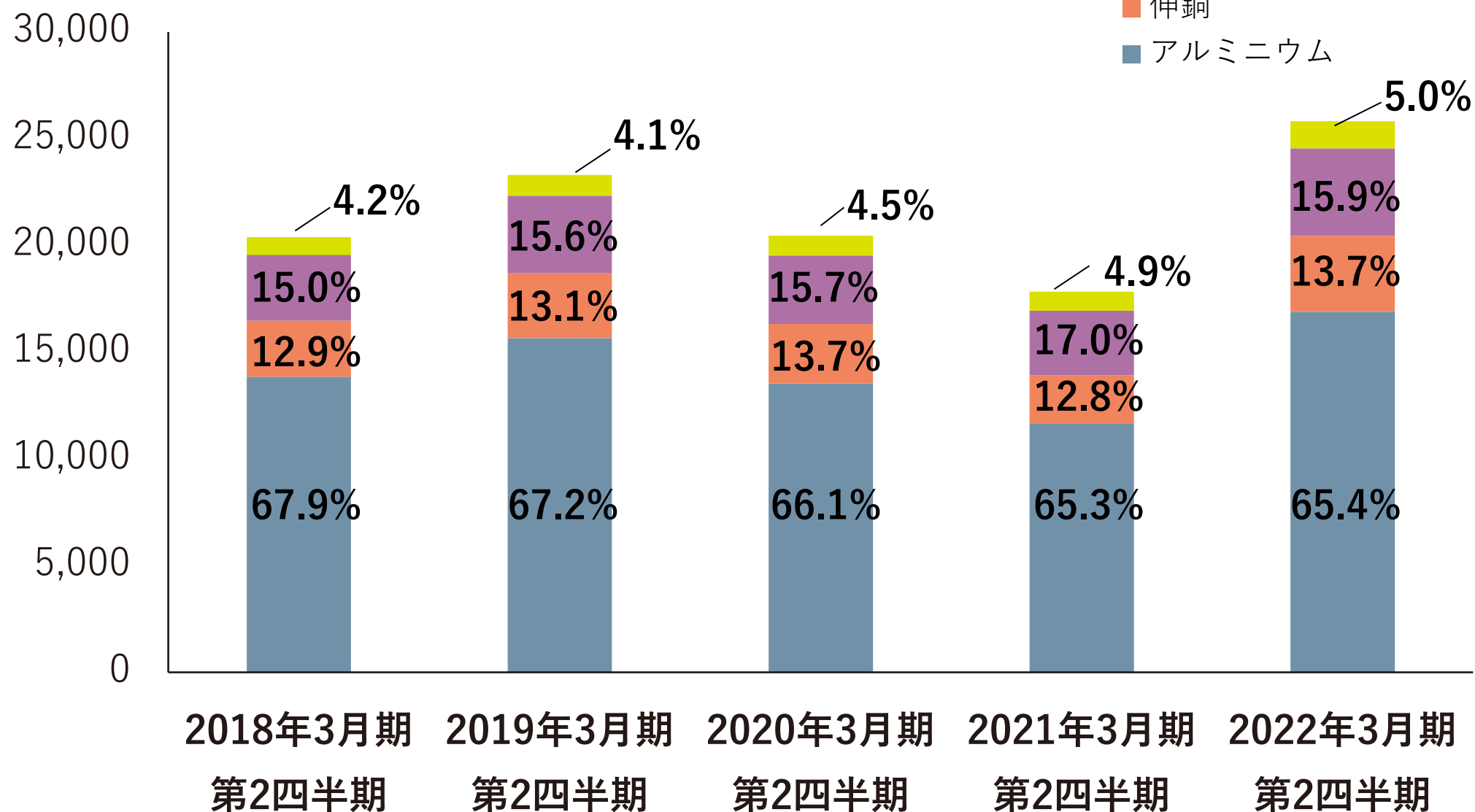
主力のアルミニウムを中心に全ての製品で前年同四半期より増収

(百万円)	2021/3期 1Q	2021/3期 2Q	2021/3期 第2四半期 累計	2021/3期 3Q	2021/3期 4Q	2022/3期 1Q	2022/3期 2Q	2022/3期 第2四半期 累計	前年同四半期 増減率
連結売上高	9,358	8,477	17,836	9,962	11,421	12,636	13,182	25,818	+44.8%
アルミニウム	6,082	5,556	11,638	6,550	7,458	8,242	8,654	16,896	+45.2%
伸銅	1,161	1,114	2,276	1,328	1,496	1,780	1,766	3,546	+55.8%
ステンレス	1,648	1,380	3,028	1,612	1,874	1,991	2,116	4,108	+35.6%
その他	465	427	892	472	593	621	645	1,267	+42.1%

# 品種別売上高の構成比率

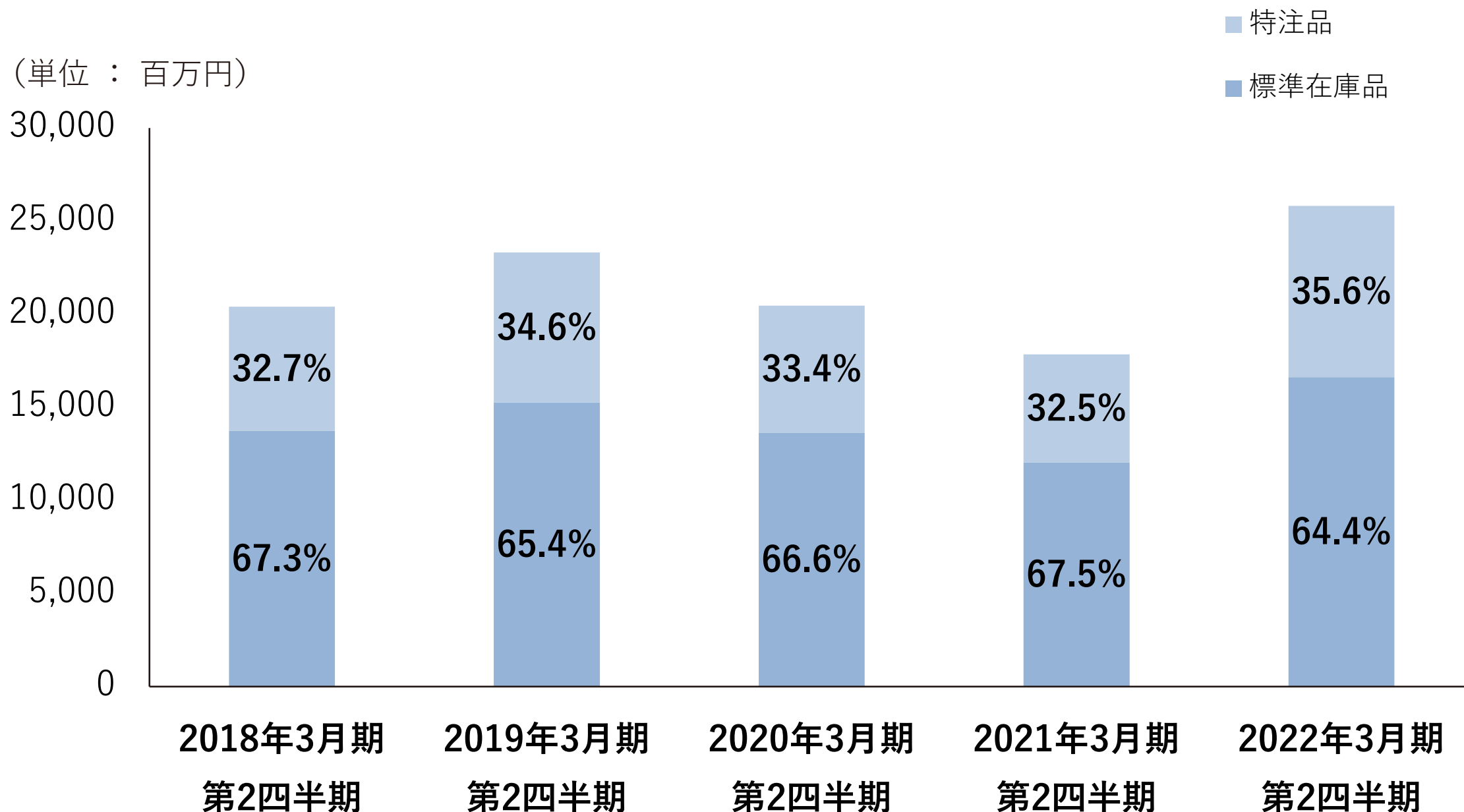
主力のアルミニウム製品の比率が前年同四半期比0.1ポイント、伸銅製品の比率が0.9ポイント、各々増加

(単位：百万円)



# 標準在庫品・特注品売上高の構成比率

## 前年同四半期と比較して特注品の比率が増加



# 貸借対照表 (BS)

## < 貸借対照表(前連結会計年度末比) >

単位：百万円

資産の部	2021年3月末	2021年9月末	増減	負債及び純資産の部	2021年3月末	2021年9月末	増減
<b>流動資産</b>	<b>24,851</b>	<b>29,032</b>	<b>4,181</b>	<b>流動負債</b>	<b>15,190</b>	<b>18,745</b>	<b>3,555</b>
現金及び預金	5,924	7,088	1,164	支払手形及び買掛金 (含 電子記録債務)	13,133	16,443	3,310
受取手形及び売掛金 (含 電子記録債権)	12,851	15,084	2,233	未払金・未払費用	956	844	△ 112
棚卸資産	5,961	6,711	750	未払法人税等	469	682	212
その他流動資産	116	150	34	その他流動負債	631	776	145
<b>固定資産</b>	<b>8,264</b>	<b>8,367</b>	<b>103</b>	<b>固定負債</b>	<b>56</b>	<b>51</b>	<b>△ 5</b>
有形固定資産	6,370	6,386	15	<b>負債合計</b>	<b>15,246</b>	<b>18,796</b>	<b>3,550</b>
無形固定資産	402	481	79	<b>純資産</b>	<b>17,870</b>	<b>18,603</b>	<b>733</b>
投資その他の資産	1,492	1,501	9				
<b>資産合計</b>	<b>33,115</b>	<b>37,399</b>	<b>4,284</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>33,115</b>	<b>37,399</b>	<b>4,284</b>

### ■ 主要項目の増減要因分析

①**流動資産** 29,032百万円 (前連結会計年度末比 4,181百万円増加)

- ・ 現預金の増加
- ・ 売上高増加による受取手形及び売掛金の増加

②**固定資産** 8,367百万円 (前連結会計年度末比 103百万円増加)

- ・ 有形固定資産の増加 15百万円
- ・ 無形固定資産の増加 79百万円
- ・ 投資その他の資産の増加 9百万円

③**流動負債** 18,745百万円 (前連結会計年度末比 3,555百万円増加)

- ・ 支払手形及び買掛金の増加
- ・ 未払法人税等の増加

④**純資産** 18,603百万円 (前連結会計年度末比 733百万円増加)

# キャッシュフロー

## 増益による営業CFの増加により現金が増加

(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	差額
営業活動による キャッシュ・フロー	△218	2,275	2,494
投資活動による キャッシュ・フロー	△201	△467	△265
財務活動による キャッシュ・フロー	△655	△657	△1
現金及び現金同等物 に係る換算差額	3	12	9
現金及び現金同等物 の期末残高	3,896	7,087	3,191

### 主な内訳

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

**+2,275百万円**

- ・税金等調整前当期純利益 : 1,993百万円
- ・減価償却費 : 404百万円
- ・売上債権の増減額 (△は増加) : △2,221百万円
- ・たな卸資産の増減額 (△は増加) : △740百万円
- ・仕入債務の増減額 (△は減少) : 3,306百万円
- ・法人税等の支払額 : △440百万円

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

**△467百万円**

- ・有形固定資産の取得に伴う支出 : △375百万円
- ・無形固定資産の取得に伴う支出 : △84百万円

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

**△657百万円**

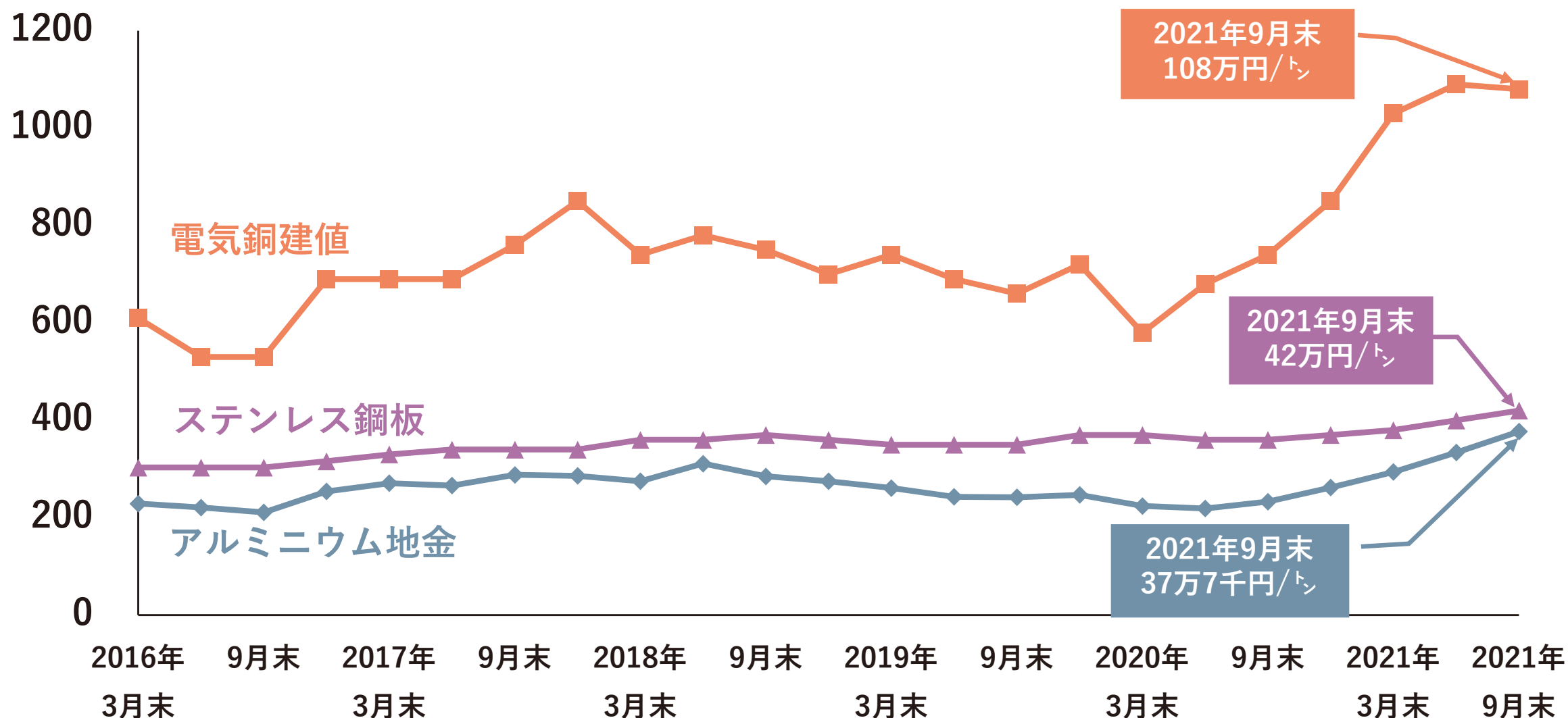
- ・配当金支払による減少 : △657百万円



# 事業環境（1） アルミニウム・銅・ステンレスの原材料市況

## アルミニウム・伸銅・ステンレスの地金価格は上昇傾向継続

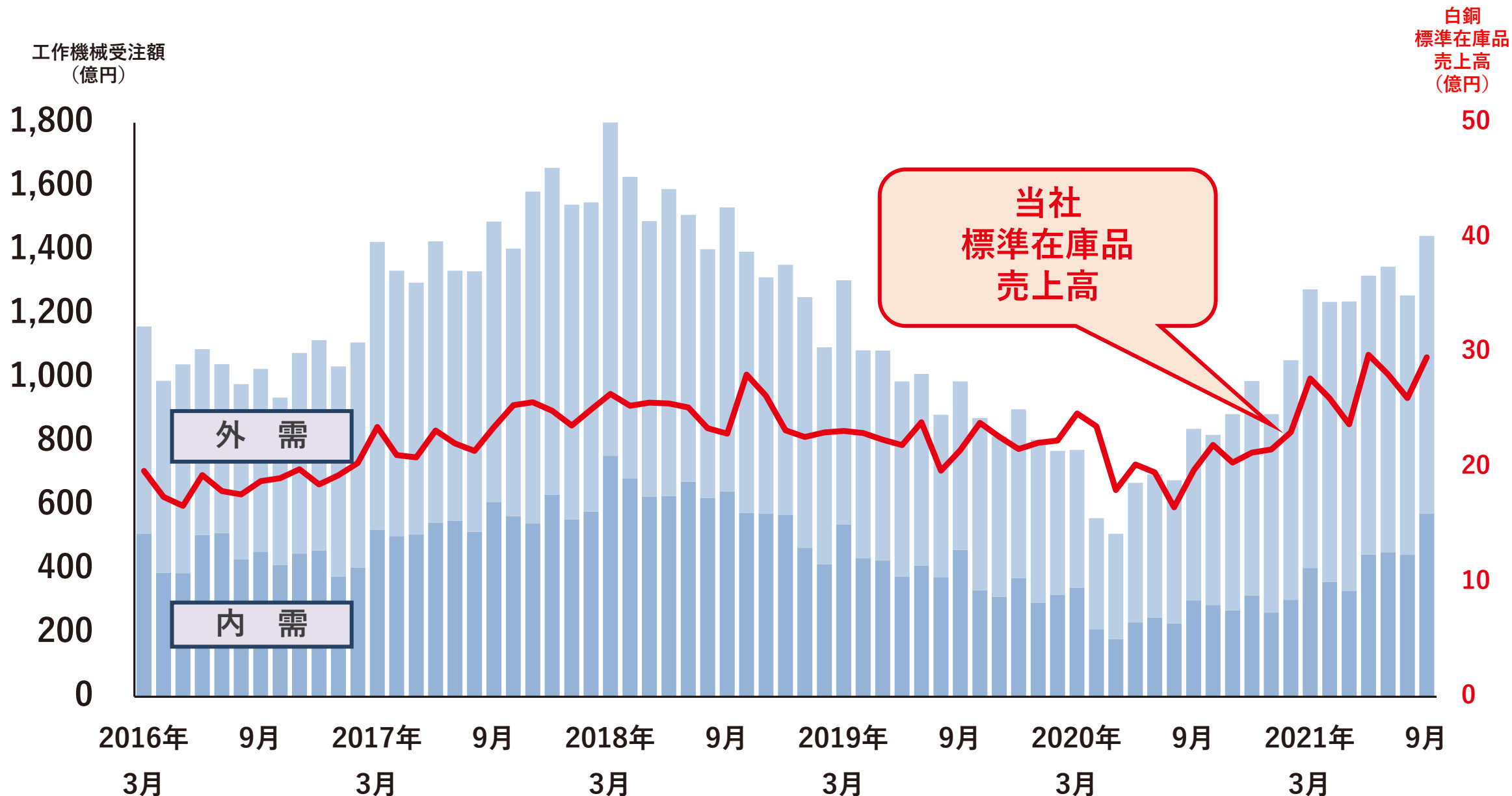
(単位：千円/トン)



ステンレス鋼板：鉄鋼新聞月別中心値  
 アルミニウム地金：日本経済新聞月別平均値

# 事業環境（2） 工作機械受注額と標準在庫品売上高との比較

## 工作機械受注額は外需・内需ともに回復傾向



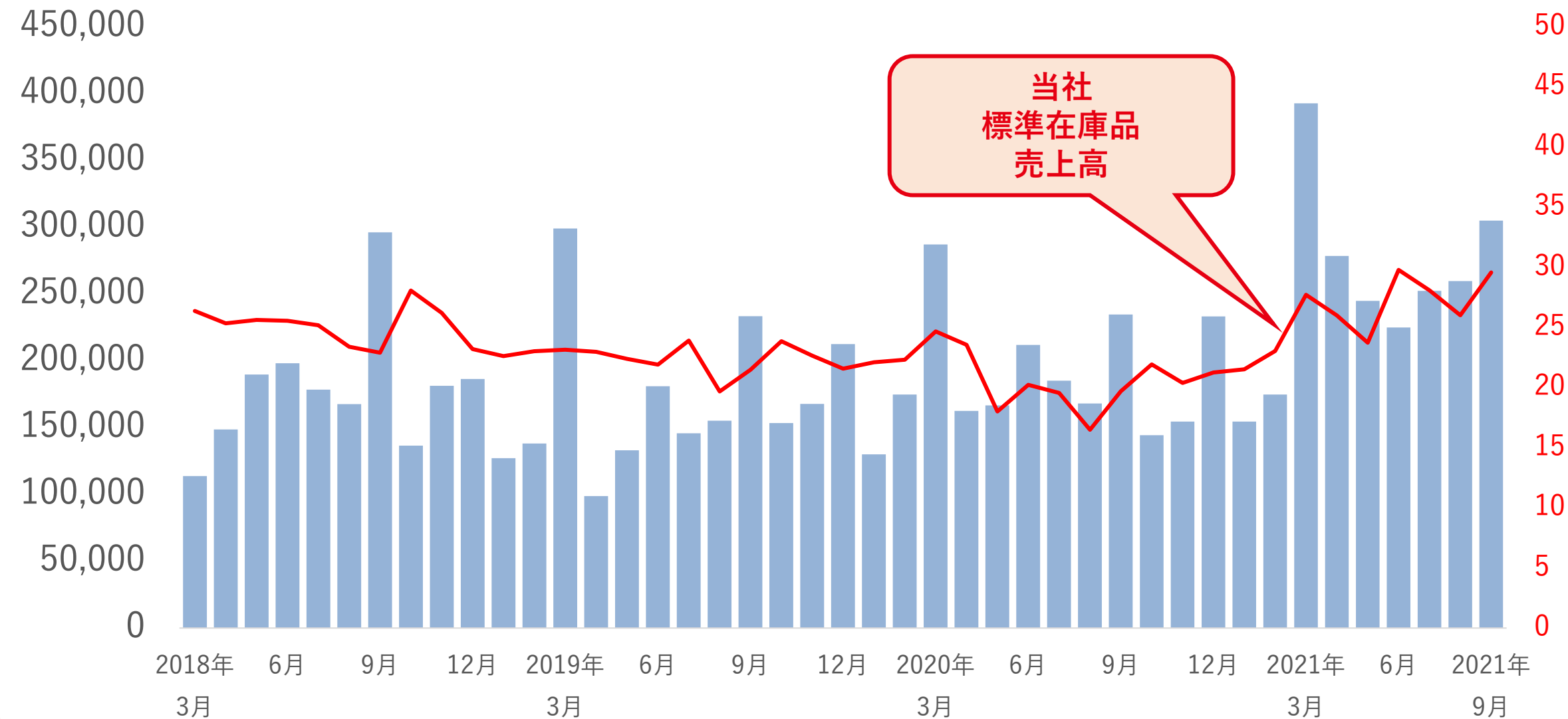
出典：日本工作機械販売協会 工作機械受注統計

# 事業環境（3） 半導体製造装置販売額と標準在庫品売上高との比較

## 5G関連やデータセンター向けの需要拡大継続が見込まれる

日本製製造装置販売額  
(千億円)

白銅  
標準在庫品  
売上高  
(億円)



出典：日本半導体製造装置協会 統計データ

# 2022年3月期 通期業績予想

---

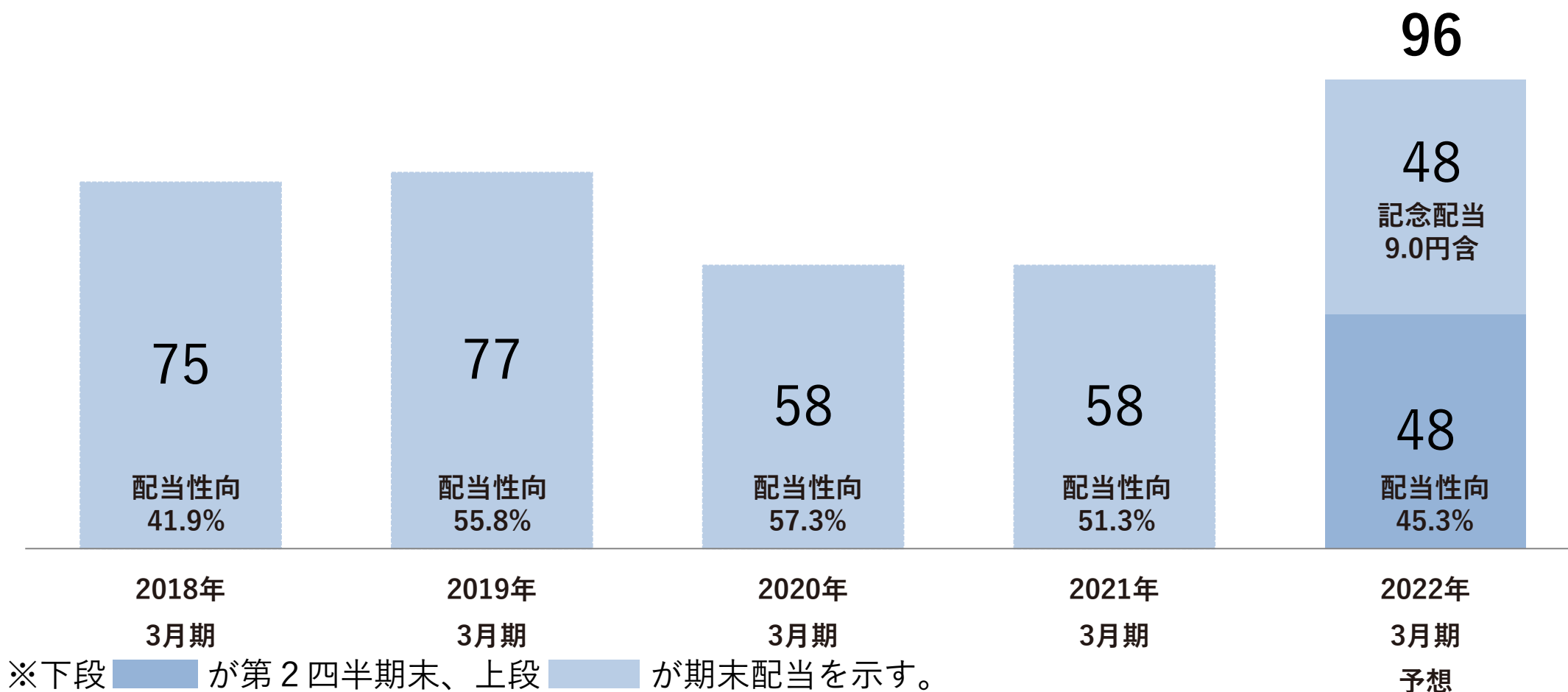
# 2022年3月期 通期連結業績予想

- ・半導体製造装置業界の旺盛な需要予想を勘案し、前期より大幅な増収増益かつ過去最高値更新を見込む
- ・第2四半期時点での業績予想値に対する進捗率は良好。下期も需要は旺盛だが、不安定な地金価格等を考慮し、現時点では通期予想を据え置き

(百万円)	2021/3期 実績	売上高比	2022/3期 上期実績	2022/3期 下期予想	2022/3期 通期予想 (8/10発表)	売上高比	増減率	2Q時点での 進捗率
売上高	39,219	-	25,818	26,182	<b>52,000</b>	-	<b>+32.6%</b>	49.7%
営業利益 (棚卸資産影響前)	1,938	4.9%	1,681	1,439	<b>3,120</b>	6.0%	<b>+61.0%</b>	53.9%
棚卸資産影響額	+43	-	+259	+41	<b>+300</b>	-	-	-
営業利益 (棚卸資産影響後)	1,981	5.1%	1,940	1,480	<b>3,420</b>	6.6%	<b>+72.6%</b>	56.7%
経常利益	2,083	5.3%	1,993	1,507	<b>3,500</b>	6.7%	<b>+68.0%</b>	56.9%
親会社に帰属する 当期純利益	1,281	3.3%	1,355	1,045	<b>2,400</b>	4.6%	<b>+87.2%</b>	56.5%

# 配当予想～1株当たり配当金の推移～

2022年3月期から中間配当および株主優待実施  
好調な業績に伴い、8/10に発表した配当予想額を更に  
増加し、中間配当を46円から48円への2円の増配を決定



# 東証新市場区分の選択

## 東証新市場区分の適合状況

- 2021年7月9日付で東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合に関する一次判定結果を受領、「プライム市場」への上場維持基準に適合していることを確認いたしました。
- 東京証券取引所が定めるスケジュールに従い、今後、2021年12月の取締役会で新市場区分における市場区分選択の決議後開示予定

# 重点施策



# 重点施策（1）－1

(1)ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現

**(1)-1 ロボットなど、省人・省力化生産設備の積極投入、製造現場のIoT推進による製造現場の革新**

【過去の投資実績と来期の予定】

2022年3月期は工場自動化設備や白銅ネットサービスへの投資など875百万円を予定

固定資産取得額(連結)

(単位：百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期 第2四半期	2022年 3月期 (予定)
有形固定資産	1,227	1,086	593	485	510	559
無形固定資産	83	213	111	105	151	316
取得額合計	1,311	1,300	705	591	662	875

設備投資の効果により、当社工場の生産能力は  
2018年3月期と比較し178%増強した

【納期繰延発生率（カタログ納期より遅延した件数率）】

2018年3月期と比較し2022年3月期第2四半期は約1/3に減少

【製造関連の返品発生件数率】

2018年3月期と比較し2022年3月期第2四半期は約1/5に減少

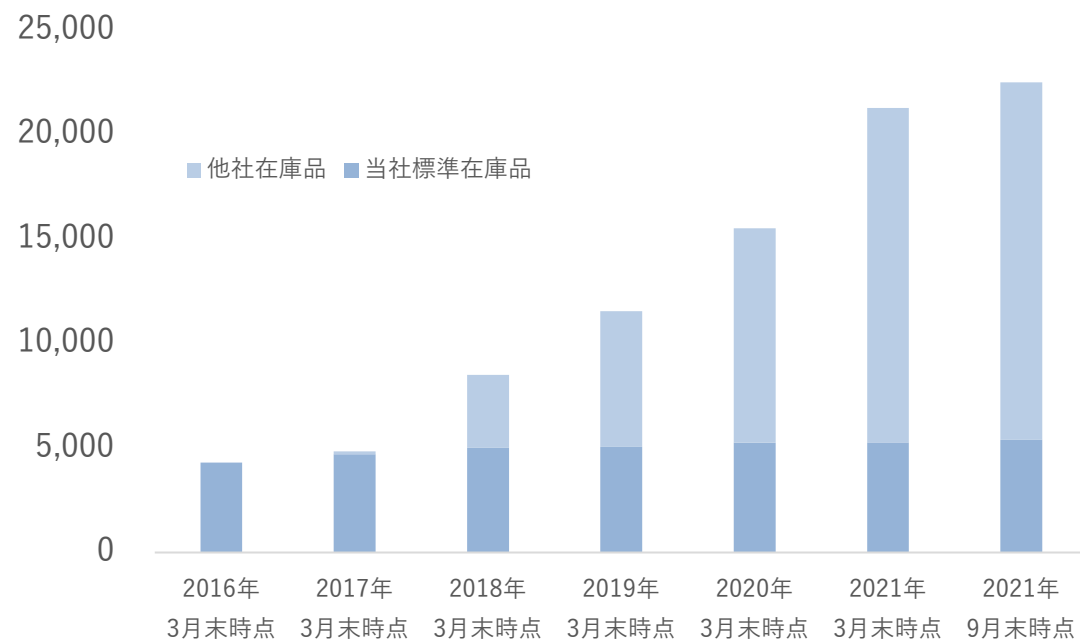
# 重点施策（1）－2

## (1)ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格の実現

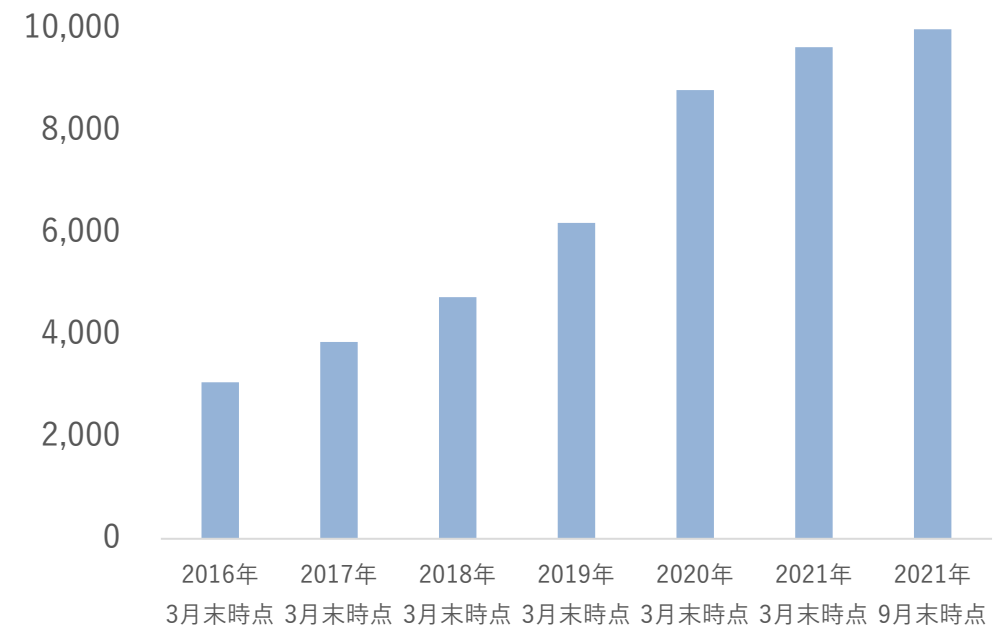
### (1)-2「白銅ネットサービス」の更なる利便性の向上

- ・品目サイズを大幅拡充、22,500品目サイズがご利用可能
- ・工具、ネジ等材料以外の取り扱いも増加中
- ・見積りの白銅ネットサービス利用率90%を目指す

【白銅ネットサービス ご利用可能アイテム数】



【白銅ネットサービスご利用登録社数推移（累計）】



# 重点施策（2）

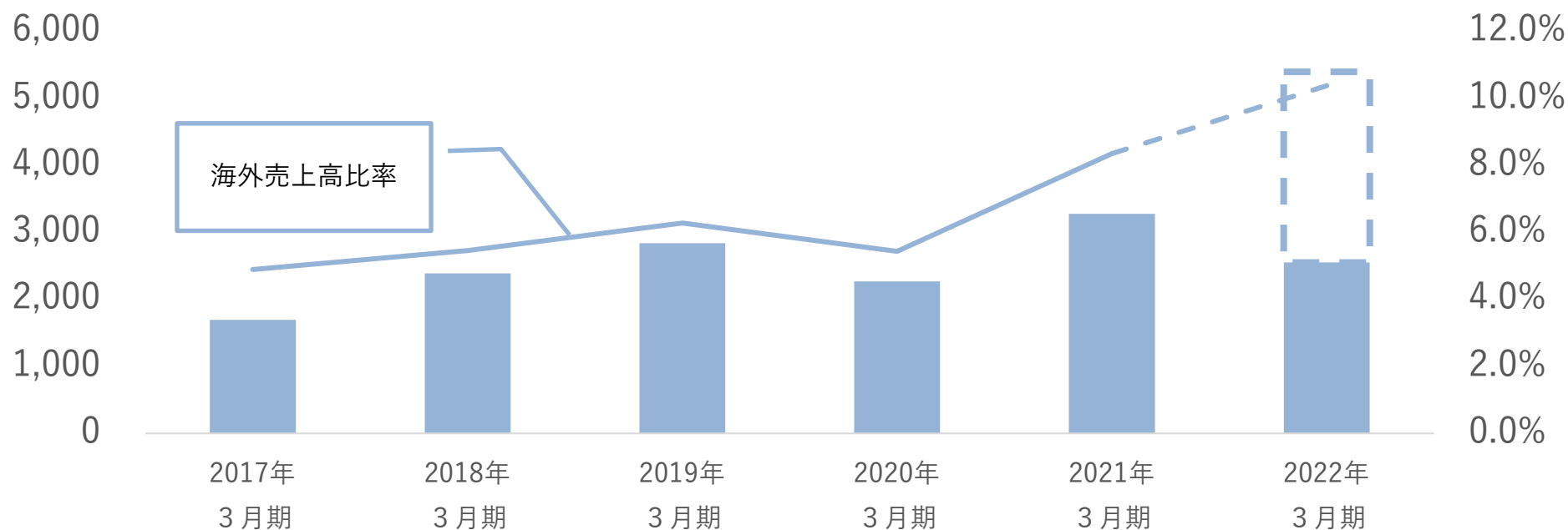
## (2) 海外事業の拡大

- ◆ 海外子会社の売上高および利益の増大
- ◆ 2020年6月に出資を完了したベトナム大手非鉄金属商社であるオリスター社との協業体制の構築
- ◆ 海外での非鉄・ステンレスのオーダーメイドプレート販売網確立
- ◆ 海外代理店との連携強化と新規進出国（米国・韓国等）の検討
- ◆ 海外でのWeb販売の強化

白銅グループ全体に占める海外事業の売上高10%以上を目指す

### 【海外事業の売上高と海外売上高比率の推移】

(単位 百万円)



※日本から海外子会社以外への輸出売上高と海外子会社の売上高の合計金額

※2022年3月期の「」は予想値

# 重点施策（3）

## (3) 新規事業の育成

### (3)-1 3Dプリンターによる金属製品の受託製造

- ・アルミダイカスト合金「ADC12」の造形サービスの販売強化
- ・3D造形に関するトータルソリューション「3D+ONE」
- ・検査設備増強による検査体制の強化
- ・3Dプリンターの相乗効果を狙った金型・自動車業界への拡販



画像提供：3D Systems Corporation

### (3)-2 航空宇宙規格材料のコンビニエンスディーラーを目指す

業界最大級の  
豊富な在庫ラインアップ

航空機の構造材、各種の装備品  
や人工衛星部品などに使用され  
る材料を豊富なサイズラインアッ  
プで品揃え

規格に合致した品質確保

JIS Q 9100(航空宇宙)を取得  
神奈川工場・滋賀工場

海外からの輸入にも対応










海外との幅広いネットワークを使  
って、輸入にも迅速に対応いた  
します。

# 重点施策（4）

## (4) ESG/SDGsの取組み

経営幹部を中心としたESG/SDGs経営委員会を設置

「事業を通じた継続的な社会への貢献」と「中長期的な企業価値の向上」の実現を目指す

ESG区分	マテリアリティの例	活動内容	SDGsのゴール
E	脱炭素社会実現への取組み	CO2排出量の調査	    
	スクラップ率低減	端材減少の取組み	
	産業廃棄物削減	リサイクルの推進	
	配送効率の改善	最適な便編成の検討	
	消費電力削減	消費電力削減によるCO2排出削減	
	グリーン調達率	グリーン調達ガイドライン作成および締結	
	ECOシリーズ強化	環境に優しいECOシリーズ商品の販売	
S	従業員満足度向上	従業員満足度調査	  
	多様な人材活用	資格取得支援	
	産学協働	共同研究、モノづくりへの支援	
G	コンプライアンス・リスク管理	コンプライアンステスト実施	
	情報管理・セキュリティ	ISO27001取得に向けた準備	
	JISQ9100の全社取得	JISQ9100の取得に向けた準備	

---

ご清聴ありがとうございました。

■本資料における注意事項

この資料には、2021年11月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先

白銅株式会社 経営企画本部長 關濱 亮  
メールアドレス：001002@hakudo.co.jp  
ホームページ [www.hakudo.co.jp](http://www.hakudo.co.jp)

# 参考資料 1. 会社概要

社名	白銅株式会社
創業	1932年2月
業種	非鉄金属卸売業
売上高	392億円(2021年3月期・連結ベース)
従業員数	862名(2021年4月現在)
上場市場	東京証券取引所第一部
事業内容	アルミニウム、伸銅、ステンレス、特殊鋼、プラスチック等の板、棒、管の加工・販売
機関設計	監査等委員会設置会社（指名・報酬等諮問委員会設置）
役員構成	社内取締役4名 社外取締役5名
連結子会社	国内 株式会社AQR 海外 上海白銅精密材料有限公司 Hakudo (Thailand) Co., Ltd.
取得認証	JIS Q 9100(神奈川工場・滋賀工場)
ホームページ	<a href="http://www.hakudo.co.jp">www.hakudo.co.jp</a>



# 参考資料 2. 沿革



- 2020年6月 ベトナムOristar Corporation へ出資
- 2020年1月 滋賀工場にて航空・宇宙規格のJIS Q 9100を取得
- 2019年2月 株式会社AQR(旧高瀬アルミ)を完全子会社化
- 2017年11月 埼玉県加須市に埼玉工場を開設
- 2016年1月 神奈川工場にて航空・宇宙規格のJIS Q 9100を取得
- 2015年1月 金属3Dプリンターの造形サービスを開始
- 2014年10月 Hakudo(Thailand)Co.,Ltdをバンコクに設立
- 2008年5月 佐賀県鳥栖市に九州工場を開設
- 2006年2月 福島県郡山市に福島工場を開設
- 2005年9月 東京証券取引所第一部に上場
- 2003年5月 中国上海市に上海白銅精密材料有限公司を設立
- 2000年3月 JASDAQに店頭公開
- 1990年3月 滋賀県蒲生郡に滋賀工場を開設
- 1978年9月 材料の切断加工と小口配送を開始
- 1974年10月 神奈川県厚木市に神奈川工場を開設
- 1967年5月 白銅株式会社に商号変更
- 1949年11月 株式会社白銅商店設立
- 1932年2月 白銅商店を個人創業

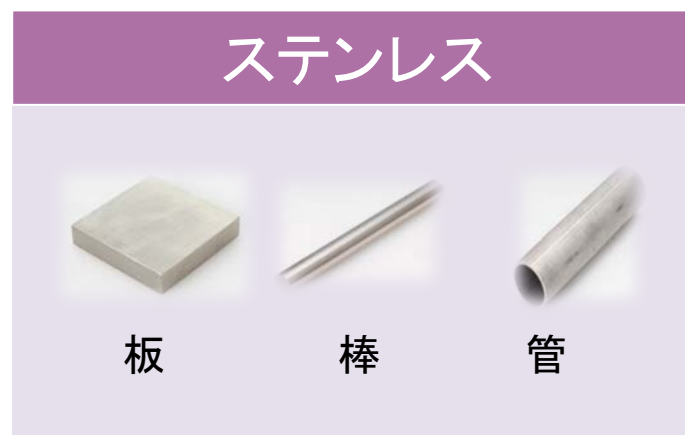
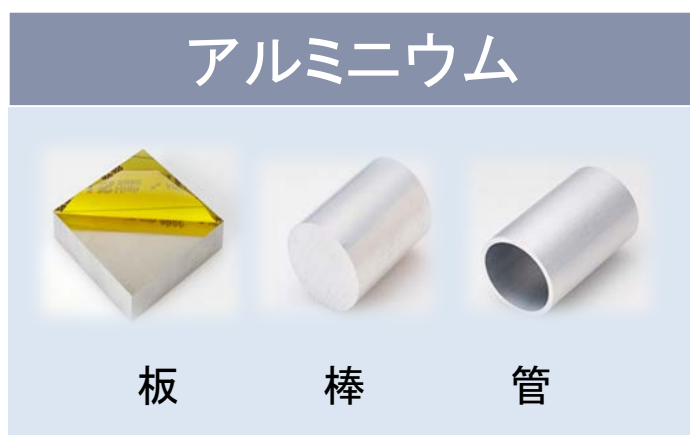


創業時の本社

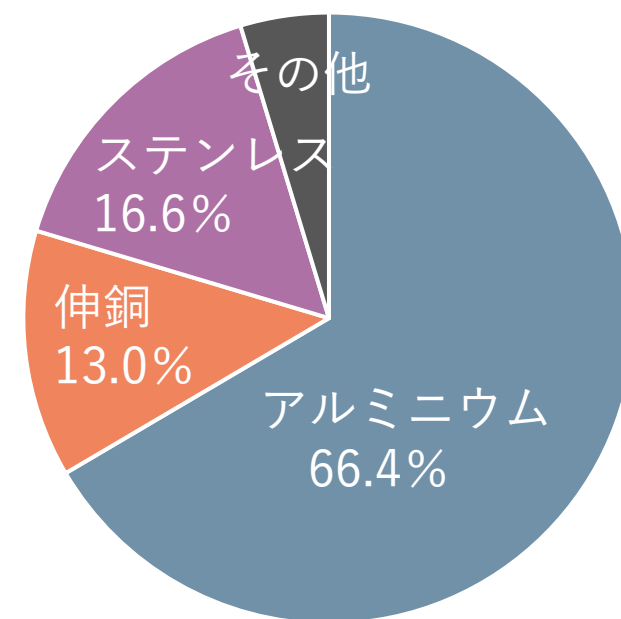


## 参考資料 3. 事業内容（当社取り扱い製品）

当社が取り扱う商品はアルミニウムや伸銅、ステンレス等の非鉄金属素材  
重量や熱伝導性など、素材ごとに様々な特色があり、用途は多岐にわたる



【品種別売上高構成比】  
(2021年3月期)



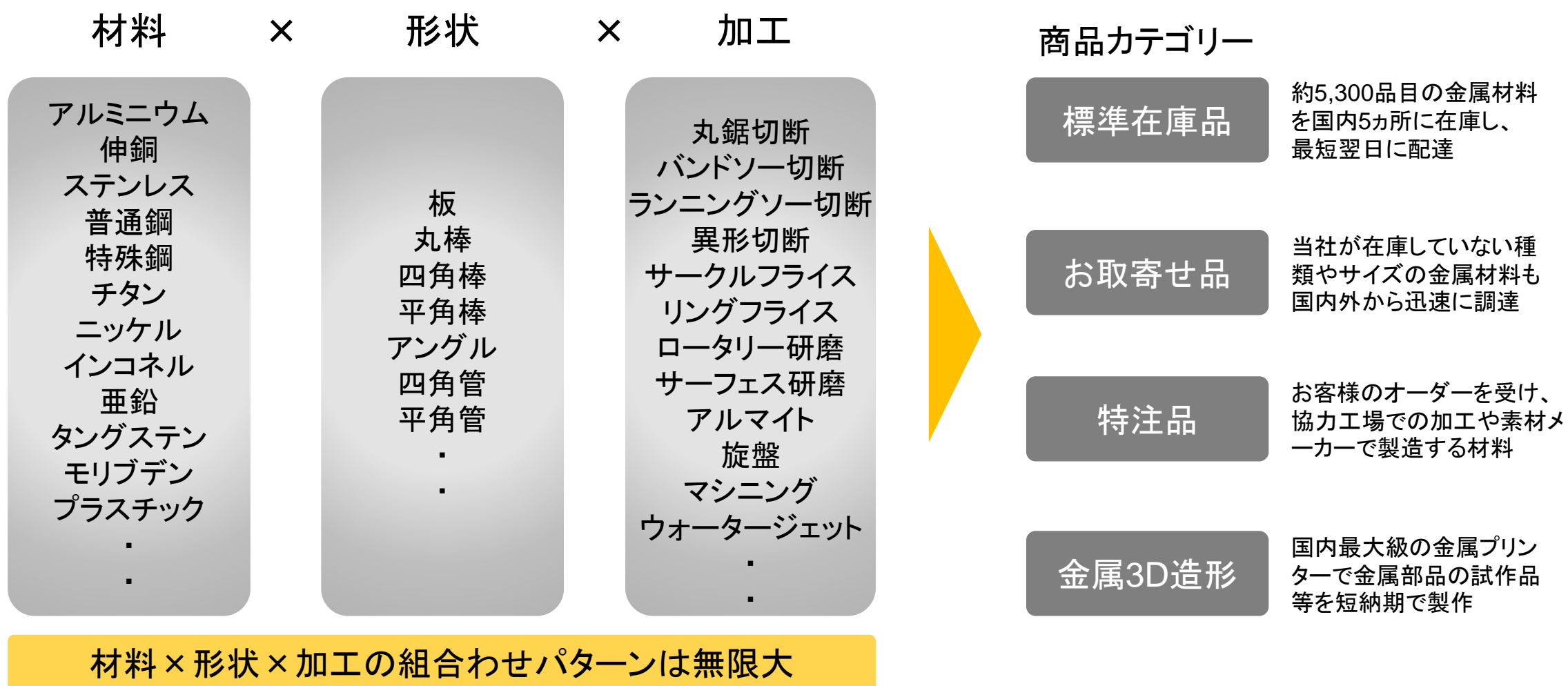
## 参考資料4. 事業内容（当社製品の用途/顧客業界）

**半導体業界や自動車業界を中心に、民生の家電や航空機に至るまで、幅広い分野に使用されています。**

品種	業界	使用用途例
アルミニウム	半導体製造装置	製造装置のチャンバー材
	FPD（液晶）製造装置	製造装置のチャンバー材
	空圧	エアシリンダー・マニホールド
	家電	部品等成型用の金型
	造船	LNG船
	航空機	航空機構造材・装備品
伸銅	FPD製造装置	ターゲット材
	自動車	部品
	半導体	リードフレーム
ステンレス	半導体製造装置	製造装置のチャンバー材
	FPD製造装置	製造装置のチャンバー材
	食品	製造装置の部品

## 参考資料 5. 事業内容（白銅の特徴）

従来の商社機能に切断・加工・配送サービスを組み合わせた白銅は、あらゆる種類の金属材料をご希望のサイズ・形状に加工し最短翌日にお届けします。



# 参考資料 6. 白銅の強み（標準在庫品販売）

## 白銅の標準在庫品販売は6つの利便性でお客様の手間と時間を節約します。

### 1. 豊富なラインアップ



アルミニウム、伸銅、ステンレス、特殊鋼を中心に、幅広い産業用素材を加工してお届けします。

### 2. 小口対応



1枚・1本・1グラムから、お客様のご要望に合わせてジャストサイズで加工し、全国にお届けします。

### 3. クイック・レスポンス



お客様センターが、FAX、電話、Eメール、ネットでのお見積りやご注文、お問い合わせに、迅速に対応します。

### 4. クイック・デリバリー



国内5ヶ所に在庫・加工センターを持ち、最短で翌日納品を実現しています。

### 5. 多彩な加工バリエーション



当社が在庫する全ての商品について、指定寸法での切断に加え、フライス、研磨などの加工にも対応します。

### 6. 高精度な加工



フライス加工や研磨加工では、板厚・巾・長さに加え、直角度、平行度や平面度まで精度保証します。

- お客様口座数 ⇒約13,000口座
- お見積り件数 ⇒約20,000件/日
- 標準在庫品の60分以内の回答率⇒90%以上
- ご注文件数 ⇒約10,000件/日

## 参考資料 7. 白銅の強み（特注品販売）

**圧延、押出メーカー、部品加工メーカーとタイアップして、  
お客様のご要望に合わせて製作したオーダーメイドの材料や加工部品をお届けします。**

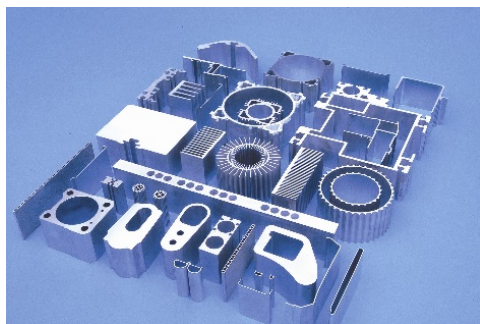
- 圧延品 …… 半導体、FPD製造装置向けスケッチ材・チャンバー材
- 押出型材 …… 空圧部品、シリンダーボディ部品、マニホールドボディ部品
- 機械加工品 …… 図面による注文で金属部品・製品、治工具等を製作
- 輸入金型および金型部品 …… プラスチック金型用、ダイカスト金型用

寸法指定でオーダーメイド



様々な材質の板を指定寸法で製作可能。

複雑形状でも高い寸法精度



製品に近い形状で押し出すことにより、材料の重量を軽減することができ、さらに加工工数の削減と合わせて、コストダウンに大きく貢献します

国内海外のネットワークを駆使



国内・海外のお客様と連携して形成した加工ネットワークを駆使して、最適な企業を白銅が選定し、機械加工品の提供をいたします

低コスト・高品質を実現



白銅グループが厳選した中国のモールドベースメーカーで製作した製品を徹底した品質管理の下に提供します